



日恵野佳代  
無会派・  
日本共産党

物価高騰など暮らしが大変な市民への支援

**問** 国の臨時交付金も活用して、水道基本料金の免除や給食費の無償期間延長、中小業者や福祉施設の燃料費支援、低所得世帯の支援、大学・専門学校生の支援を実施してはどうか。  
**答** 支援策は現在検討中であり、今定例会の最終日に追加補正予算を提出する予定である。

ヤングケアラーの支援について

**問** 市のホームページにはヤングケアラー支援の情報が家事支援以外ない。ホームページの改善や、パンフレットの活用について伺う。  
**答** 子どもや教職員、地域の方等にも理解してもらえよう周知啓発が必要と考える。国や県の動画をホームページに載せたり、学校や公共施設でリーフレットを配布する等、周知を拡大していきたい。

**問** 女性の悩み相談窓口の現状は。  
**答** 県の女性悩みごと相談の窓口等を利用してもらっている。その他、市では様々な相談を受けており、令和4年度実績として、DV相談41件（夫婦間、子ども、親からの暴力の相談等）、家庭児童相談1066件（児童の擁護の相談等）、法律相談216件、よろず相談98件（家庭の相談等）があった。

女性への支援について

**問** 石倉かごの設置も含め、三谷水産高校が行っているウナギの研究について、小中学生に広めていくための方策を伺う。  
**答** 小中学校では、市内の高校との連携を推進している。身近な環境など、様々な地域の課題について今後も互いに知恵を出し合い、学びを深めていきたい。



千賀充能  
自民党市議団

うなぎの養殖について

**問** コミュニティづくりの一助となるよう、チャラボコ太鼓の伝統文化継承組織づくりをしてはどうか。  
**答** 伝統芸能を大切にしたいという地域の盛り上がりをもつに、関係者が市全体をつなげる組織を立ち上げることに、またそれにより地域コミュニティが活性化することは、素晴らしいことだと考える。市としても、他の地域の伝統文化伝承例の紹介などを通じて協力していきたい。

ふるさと納税について

**問** クラフトフェアの作家や農業関係者に頼み、ふるさと納税の返礼品にいろいろな作品や果物を出すのはどうか。  
**答** 国が示す地場産品基準に適合するものである場合には返礼品を拡充し、寄附金額の向

上に今後も努めていきたい。

伝統文化継承のための組織づくりについて

**問** インボイス制度・電子帳簿等保存制度について周知・支援をすべきではないか。  
**答** 周知に努め、必要な支援策も調査・研究していく。



鈴木将浩  
自民党市議団

事業者支援について

**問** 国や県の認定・補助を受けるため、子育て環境を整備する事業者を支援してはどうか。  
**答** 事業者にとって人材確保につながるだけでなく、認定は有益であるため、周知と取得支援に努めていきたい。

**問** 学校での授業等、子育てや教育分野で協力してくれる事業者に、支援策や表彰制度を設けてはどうか。  
**答** 市のホームページやLINEでのPRに努めるとともに、表彰・認定制度についても検討していきたい。

**問** 若年層の市外流出防止のため、奨学金返還支援制度や市独自の奨学金制度を検討してはどうか。  
**答** 他市との差別化を図り、より効果的な制度とするため、先進的な取組を参考に、更に検討を進めていきたい。

消防団員雇用企業への入札時の優遇制度を実施してはどうか。

**問** 他市の事例を参考に検討をしたい。  
**問** 広告・防災行政ラジオの割引等の優遇措置を実施し、消防団員雇用企業への協力体制を構築してはどうか。  
**答** 各種施策との整合性を図ると共に他自治体の取組を研究したい。



蒲郡市消防団